

## ■学会発表等一覧（1992～2001年度）

### 1 他誌等掲載論文

表題	著者（○印は筆頭著者）	学会誌名	巻（No）, ページ, 年
無菌性髄膜炎の臨床的検討	○法化図陽一* <sup>1</sup> 、小河正雄 他	内科	71, 557-560, 1993
数種の樹種における樹幹流の化学的性状と季節変動	○諫本信義* <sup>2</sup> 、森崎澄江	大分県林試研報	12号, 1994
平成3年度九州・沖縄地方酸性雨共同調査結果	○森崎澄江、九州各県担当者	全国公害研会誌	19(3), 19, 1994
樹幹流の成分特性について	○森崎澄江、諫本信義* <sup>2</sup>	全国公害研会誌	4(20), 35-40, 1995
輸入魚介類の病原ビブリオ検出状況について	○緒方喜久代	大分県臨床衛生検査技師会雑誌	9巻, 1995
大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向, 1985～1995	○成松浩志、緒方喜久代、瀧 祐一 帆足喜久雄	大分県獣医師会会報	7号, 1996
VTECの検査法とその実際	○緒方喜久代	大分県臨床衛生検査技師会雑誌	10巻, 1996
Serotyping of <i>Streptococcus pyogenes</i> isolated from common and severe invasive infection in Japan, 1990-5: implication of the T3 serotype strain-expansion in TSL	○Y. Inagaki * <sup>3</sup> , Y. Fuchi, K. Hoashi, <i>et al.</i>	<i>Epidemiol. Infect.</i>	119, 41-48, 1997
感染 <i>Rickettsia tsutsugamushi</i> の血清型によるつが虫病の臨床所見の解析	○志賀耕二* <sup>4</sup> 、小河正雄、小野哲郎 橘 宣祥	感染症学雑誌	71(4), 229-306, 1997
大分県における散発下痢症の細菌学的研究, 1985-1996年	○成松浩志、緒方喜久代、瀧 祐一 帆足喜久雄	感染症学雑誌	71(7), 644-651, 1997
大分県で発生した下痢原性大腸菌食中毒の疫学的、細菌学的検討	○瀧 祐一、成松浩志、緒方喜久代 竹田義弘* <sup>5</sup> 、帆足喜久雄、橘 宣祥	日本食品微生物学会雑誌	14(2), 115-122, 1997
西日本産フグの毒性に関する研究	○瀧 祐一	長崎大学大学院海洋水産科学研究科	A4版151頁, 1998
豊後水道産ホンフグの部位別及び季節別毒性	○瀧 祐一、帆足喜久雄、赤枝 宏* <sup>6</sup> 牧野芳大、野口玉雄* <sup>6</sup>	食品衛生学雑誌	39(6), 421-425, 1998
酵素基質培地法の飲用温泉水への適用～LB-BGLB法と発色酵素基質培地法との比較～	○瀧 祐一、宮崎 正、緒方喜久代 帆足喜久雄、牧野芳大	日本食品微生物学会雑誌	15(3・4), 153-160, 1998
瀬戸内海における底質中重金属濃度の分布と変化	○駒井幸雄* <sup>7</sup> 、蛭灰谷 喬 他	水環境学会誌	21(11), 743-750, 1998
大分県におけるイヌおよびヒトからのクリプトスポリジウムの検出状況と検査法の検討	○吉用省三、帆足喜久雄、牧野芳大	医学検査	48(1), 22-25, 1999
瀬戸内海の底質汚染および水質汚濁の現況について	○小山武信* <sup>8</sup> 、蛭灰谷 喬 他	全国公害研会誌	24(1), 37-56, 1999
大分県国東沿岸産ヒガンフグ及びコモンフグの毒性	○瀧 祐一、帆足喜久雄、赤枝 宏* <sup>6</sup> 牧野芳大、野口玉雄* <sup>6</sup>	食品衛生学雑誌	40(1), 80-89, 1999
大分県内温泉水に関する細菌学的検討	○瀧 祐一、緒方喜久代、成松浩志 阿部義昭、樋田俊英、帆足喜久雄 牧野芳大	日本食品微生物学会雑誌	16(1), 43-49, 1999
フグ毒について～食中毒を防止するために～	○瀧 祐一	大分市医師会医学雑誌	25(1), 2-21, 2000
飲用温（鉱）泉の実態と利用状況について（第1報）	○牧 克年、西海政徳、瀧 祐一 神田尚徳	大分県温泉調査研究会報告	51, 53, 2000
A unique and common restriction fragment pattern of the nucleotide sequences homologous to the genome of Vf33, a filamentous bacteriophage, in pandemic strains of <i>Vibrio parahaemolyticus</i> O3:K6, O4:K68, and O1:Kuntypable	○B. Chang * <sup>9</sup> , K. Ogata <i>et al.</i>	FEMS Microbiology Letters	192, 231-236, 2000
食品残品（にぎり寿司）から耐熱性溶血毒（TDH）産生性腸炎ビブリオ O3:K6 が検出された食中毒事例	○緒方喜久代、阿部義昭、瀧 祐一 帆足喜久雄	病原微生物検出情報	21, 34-35, 2000

\*<sup>1</sup>大分県立病院、\*<sup>2</sup>大分県林業試験場、\*<sup>3</sup>国立感染症研究所、\*<sup>4</sup>志賀内科医院（竹田市）、\*<sup>5</sup>広島県保健環境センター、\*<sup>6</sup>長崎大学、\*<sup>7</sup>兵庫県立公害研究所、\*<sup>8</sup>和歌山県衛生公害研究センター、\*<sup>9</sup>産業医科大学

## 2 年報掲載論文

年度	号	部 名	表 題	著 者	種 類
1992	20	化 学 部	大分県の温泉について	小野 文生	報 文
1992	20	化 学 部	大分県内水道水の無機成分	宮崎 洋子	報 文
1992	20	微生物部	九州におけるA群溶血レンサ球菌の血清型と薬剤感受性について(1991～1992年)	瀧 祐一	報 文
1992	20	微生物部	犬糞便中の腸管病原菌の検出について	瀧 祐一	報 文
1992	20	化 学 部	食品中の食品添加物使用状況について	立花 敏弘	資 料
1992	20	化 学 部	大分県沿岸におけるムラサキイガイ中の環境汚染物質の調査について(第3報) — 1989～1992年度における調査結果 —	入江 久生	資 料
1992	20	化 学 部	魚介類中の有機スズ化合物の含有状況について(第4報)	入江 久生	資 料
1992	20	化 学 部	魚介類中の水銀濃度について	川島 真也	資 料
1992	20	化 学 部	貝毒モニタリング結果について	局 伸男	資 料
1992	20	化 学 部	家庭用品の有害物質調査について	立花 敏弘	資 料
1992	20	化 学 部	県内流通食品中の残留農薬の実態(昭和59～平成4年度)	入江 久生	資 料
1992	20	化 学 部	化学物質環境調査の概要(昭和60～平成3年度)	城井 堅	資 料
1992	20	化 学 部	畜水産食品中の合成抗菌剤の残留実態(昭和60～平成4年度)	入江 久生	資 料
1992	20	微生物部	食品の細菌学的検査成績について(1992年度)	阿南久美子	資 料
1992	20	微生物部	下痢症由来の病原細菌の動向, 1989～1992年	伊東 達也	資 料
1992	20	微生物部	感染症サーベイランスからみたウイルスの流行状況(1992年)	小野 哲郎	資 料
1992	20	微生物部	伝染病流行予測調査について(1992年度)	小河 正雄	資 料
1992	20	微生物部	大分県における1992/1993シーズンのインフルエンザの流行状況及びニワトリ血球に対する凝集性について	中田 高史	資 料
1992	20	大 気 部	杵築地域の環境大気調査	岡本 盛義	資 料
1992	20	大 気 部	大分県における雨水成分調査(第8報)	森崎 澄江	資 料
1992	20	水 質 部	水生生物のスコアによる水質評価について	甲斐 正二	資 料
1992	20	水 質 部	地先海域表面水質の周年変化について(別府湾・周防灘・佐伯湾)	浜内 正博	資 料
1993	21	微生物部	大分県におけるアデノウイルスの血清疫学(第1報) — 7ウイルス型の中和抗体保有状況 —	小野 哲郎	報 文
1993	21	微生物部	Vero細胞による日本脳炎中和抗体価の測定法について	小河 正雄	報 文
1993	21	化 学 部	野菜、果物中の残留農薬検査結果(平成5年度)	局 伸男	資 料
1993	21	微生物部	感染症サーベイランスからみたウイルスの流行状況(1993年)	中田 高史	資 料
1993	21	微生物部	大分県における1993/1994シーズンのインフルエンザの流行状況について	中田 高史	資 料
1993	21	微生物部	伝染病流行予測調査について(1993年度)	小河 正雄	資 料
1993	21	微生物部	大分県における臨床材料由来溶血レンサ球菌の動向, 1992～1993年	瀧 祐一	資 料
1993	21	微生物部	飲料水大腸菌群試験におけるMMO-MUG法と従来法との比較検討	瀧 祐一	資 料
1993	21	微生物部	集団給食施設使用水からの下痢原性大腸菌、カンピロバクター、エロモナスおよびプレシオモナスの検出状況について	緒方喜久代	資 料
1993	21	微生物部	食品の細菌学的検査成績について(1993年度)	緒方喜久代	資 料
1993	21	大 気 部	豊後高田地域の環境大気調査	三浦 清徳	資 料
1993	21	大 気 部	大分県における雨水成分調査(第9報)	森崎 澄江	資 料
1993	21	大 気 部	大分県における空間線量率等調査	岡本 盛義	資 料
1993	21	水 質 部	県内河川のBODと大腸菌群数による水質評価	宮崎 洋子	資 料
1994	22	微生物部	大分県におけるウイルスの流行状況について(1990～1994年)	中田 高史	報 文
1994	22	微生物部	大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向(1985～1994年)	成松 浩志	報 文
1994	22	微生物部	九州におけるA群溶血レンサ球菌の血清型と薬剤感受性について(第2報)(1993～1994年)	瀧 祐一	報 文
1994	22	大 気 部	樹幹流の成分特性について	森崎 澄江	報 文
1994	22	化 学 部	水道水の監視項目検査結果について(1994年度)	立花 敏弘	資 料
1994	22	微生物部	感染症サーベイランスからみたウイルスの流行状況(1994年)	中田 高史	資 料
1994	22	微生物部	大分県における1994/1995シーズンのインフルエンザの流行状況について	中田 高史	資 料
1994	22	微生物部	伝染病流行予測調査について(1994年度)	小河 正雄	資 料
1994	22	微生物部	飲料水大腸菌群試験におけるMMO-MUG法と従来法との比較検討(第2報)	瀧 祐一	資 料

年度	号	部 名	表 題	著 者	種 類
1994	22	微生物部	輸入魚介類の病原ビブリオ検出状況について (1990～1994年)	緒方喜久代	資 料
1994	22	微生物部	食品の細菌学的検査成績について (1994年度)	緒方喜久代	資 料
1994	22	大 気 部	大分県における雨水成分調査 (第10報)	森崎 澄江	資 料
1994	22	大 気 部	分子拡散法による大気中二酸化窒素濃度の測定結果について (第1報)	藤野 卓見	資 料
1994	22	水 質 部	芹川ダム水質調査 (1994年)	城井 堅	資 料
1995	23	化 学 部	人工酸性雨に対する土壌緩衝能調査 (第1報)	久枝 和生	報 文
1995	23	微生物部	飲用温泉水の衛生学的研究	淵 祐一	報 文
1995	23	微生物部	大分県沿岸産フグの毒性について	淵 祐一	報 文
1995	23	微生物部	大分県におけるQ熱の血清疫学	小河 正雄	報 文
1995	23	化 学 部	高速度液体クロマトグラフィーによるチオファネートメチル分析法について	川島 真也	資 料
1995	23	微生物部	感染症サーベイランスからみたウイルスの流行状況 (1995年)	小野 哲郎	資 料
1995	23	微生物部	大分県における1995/1996シーズンのインフルエンザの流行状況について	小野 哲郎	資 料
1995	23	微生物部	伝染病流行予測調査について (1995年度)	小河 正雄	資 料
1995	23	微生物部	九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型別について (1995年) (第3報)	淵 祐一	資 料
1995	23	微生物部	大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向 (1995年)	成松 浩志	資 料
1995	23	微生物部	下痢原性大腸菌における毒素産生培地の検討	淵 祐一	資 料
1995	23	微生物部	原因食品が特定されたサルモネラ・エンテリティディス食中毒事例について	緒方喜久代	資 料
1995	23	微生物部	食品の細菌学的検査成績について (1995年度)	緒方喜久代	資 料
1995	23	大 気 部	大分県における雨水成分調査 (第11報)	森崎 澄江	資 料
1995	23	大 気 部	九重硫黄山噴火に伴う大気環境影響について	加藤 洋一	資 料
1995	23	水 質 部	芹川ダム水質調査 (1987年度～1995年度)	城井 堅	資 料
1995	23	大 気 部	海外派遣報告：セイシェル共和国における環境技術協力について	加藤 洋一	報 告
1996	24	微生物部	大分県におけるクラミジア感染症の浸淫状況について	小野 哲郎	報 文
1996	24	微生物部	大分県で発生した下痢原性大腸菌食中毒の疫学的、細菌学的検討 (第1報) —E P E Cによる食中毒—	淵 祐一	報 文
1996	24	微生物部	大分県で発生した下痢原性大腸菌食中毒の疫学的、細菌学的検討 (第2報) —E T E Cによる食中毒—	淵 祐一	報 文
1996	24	水 質 部	別府湾における低層貧酸素化の現状	飛高 信雄	報 文
1996	24	管理情報部	大分県衛生環境情報システムの整備 (第1報) — Windows95をベースにした 所内LANの構築—	恵良 雅彰	資 料
1996	24	管理情報部	大分県衛生環境情報システムの整備 (第2報) — 温泉情報データベースシ ステムの開発—	恵良 雅彰	資 料
1996	24	化 学 部	大分川水系におけるカビ臭調査	安藤 章夫	資 料
1996	24	化 学 部	蒲江町沿岸海域における二枚貝の麻痺性貝毒について	後藤 成一	資 料
1996	24	化 学 部	硫黄山水蒸気爆発に伴う周辺温泉の実態調査 (第1報)	宮崎 正	資 料
1996	24	微生物部	伝染病流行予測調査について (1996年度)	小河 正雄	資 料
1996	24	微生物部	感染症サーベイランスからみたウイルスの流行状況 (1996年)	小野 哲郎	資 料
1996	24	微生物部	大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向 (1996年)	成松 浩志	資 料
1996	24	微生物部	食品の細菌学的検査成績について (1996年度)	緒方喜久代	資 料
1996	24	大 気 部	大分県における雨水成分調査 (第12報)	森崎 澄江	資 料
1997	25	微生物部	大分県のつつが虫病 (1992～1997年)	小河 正雄	報 文
1997	25	管理情報部	大分県衛生環境情報システムの整備 (第3報) — 公共用水域水質調査管理 システムの開発—	恵良 雅彰	資 料
1997	25	管理情報部	大分県衛生環境情報システムの整備 (第4報) — 大気汚染常時測定局測定 結果管理システムの開発—	恵良 雅彰	資 料
1997	25	化 学 部	魚介類中の有機スズ化合物の残留実態について	金並 和重	資 料
1997	25	化 学 部	農産物中の残留農薬について (1994年度～1997年度)	局 伸男	資 料
1997	25	化 学 部	食品残留農薬実態調査について	川島 真也	資 料
1997	25	微生物部	小型球形ウイルス (SRSV) による食中毒事例について	小野 哲郎	資 料
1997	25	微生物部	伝染病流行予測調査について (1997年度)	小野 正雄	資 料
1997	25	微生物部	感染症サーベイランスからみたウイルスの流行状況 (1997年)	塚本 伸哉	資 料



年度	号	部 名	表 題	著 者	種 類
1997	25	微生物部	発色酵素基質培地による食品の大腸菌群検査について	瀧 祐一	資 料
1997	25	微生物部	九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型別について(1996-1997年)(第4報)	瀧 祐一	資 料
1997	25	微生物部	大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向(1997年)	緒方喜久代	資 料
1997	25	微生物部	食品の細菌学的検査成績について(1997年度)	緒方喜久代	資 料
1997	25	大 気 部	大分県における雨水成分調査(第13報)	藤原 信子	資 料
1997	25	大 気 部	臼杵石仏に与える酸性雨の影響調査について	藤原 信子	資 料
1997	25	大 気 部	大分県における温泉水中の放射能について	藤野 卓見	資 料
1997	25	水 質 部	臼杵市内の河川の汽水域で冬期に発生する赤潮について	足立 和治	資 料
1998	26	微生物部	大分県におけるエコーウイルス30型による無菌性髄膜炎の流行について	小野 哲郎	報 文
1998	26	微生物部	1998~1999年大分県でのインフルエンザの流行 —脳炎・脳症からのインフルエンザウイルスの分離—	小野 哲郎	報 文
1998	26	微生物部	大山町におけるつつが虫病の研究	小河 正雄	報 文
1998	26	微生物部	大分県における <i>Cryptosporidium</i> の疫学調査	吉用 省三	報 文
1998	26	微生物部	フグ毒に関する調査研究(第11報)—ホシフグの毒性に関する研究—	瀧 祐一	報 文
1998	26	微生物部	飲用温泉水に関する細菌学的検討(第2報)—発色酵素基質培地の飲用温泉水への適用, 温泉モデル水を用いた検討—	瀧 祐一	報 文
1998	26	微生物部	飲用温泉水に関する細菌学的検討(第3報)—発色酵素基質培地の飲用温泉水への適用, 天然温泉水を用いた検討—	瀧 祐一	報 文
1998	26	化 学 部	農産物中の残留農薬について	局 伸男	資 料
1998	26	化 学 部	アジ化ナトリウムの簡易分析法について	金並 和重	資 料
1998	26	化 学 部	畜水産食品中の動物用医薬品の残留実態(1993~1998年度)	後藤 成一	資 料
1998	26	化 学 部	硫黄山水蒸気爆発に伴う周辺温泉の実態調査(第2報)	樋田 俊英	資 料
1998	26	微生物部	ノーウォーク様ウイルス(NLVS)による食中毒事例について	小野 哲郎	資 料
1998	26	微生物部	伝染病流行予測調査について(1998年度)	小野 哲郎	資 料
1998	26	微生物部	感染症サーベイランスからみたウイルスの流行状況(1998年)	塚本 伸哉	資 料
1998	26	微生物部	食品の細菌学的検査成績について(1998年度)	緒方喜久代	資 料
1998	26	微生物部	大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向(1998年)	阿部 義昭	資 料
1998	26	微生物部	PCR法の抗酸菌同定検査への応用	緒方喜久代	資 料
1998	26	大 気 部	大分県における雨水成分調査(第14報)	藤原 信子	資 料
1998	26	水 質 部	小田の池における酸性雨モニタリング調査	足立 和治	資 料
1999	27	微生物部	大分県におけるノーウォーク様ウイルス(Norwalk-like viruses; NLVs)の侵淫状況	小野 哲郎	報 文
1999	27	微生物部	フグ毒に関する調査研究(第12報)—有毒フグ肝臓の伝統的調理法による除毒—	瀧 祐一	報 文
1999	27	微生物部	飲用温泉水に関する細菌学的研究(第4報)—県内飲用温泉水の衛生学的検討—	瀧 祐一	報 文
1999	27	大 気 部	大分県における環境大気中窒素酸化物の濃度変動	後藤 郁夫	報 文
1999	27	化 学 部	大分県内の飲用温(鉱)泉について(第1報)	牧 克年	調査・事例
1999	27	化 学 部	高速液体クロマトグラフィーによる魚介類加工品中のヒスタミンの定量	樋田 俊英	調査・事例
1999	27	微生物部	大分県における Dengue 熱患者の発生事例	小野 哲郎	調査・事例
1999	27	微生物部	Diffuse outbreak と推定された <i>Salmonella</i> Chester 及び <i>Salmonella</i> Oranienburg による散発下痢症の疫学	緒方喜久代	調査・事例
1999	27	大 気 部	大気中環境ホルモン(ベンゾ[a]ピレン)の分析法について	藤野 卓見	調査・事例
1999	27	微生物部	感染症情報の収集・解析・提供に関する調査研究	小河 正雄	資 料
1999	27	微生物部	感染症流行予測調査について(1999年)	小河 正雄	資 料
1999	27	微生物部	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況(1999年)	塚本 伸哉	資 料
1999	27	微生物部	食品の微生物学的検査成績について(1999年度)	緒方喜久代	資 料
1999	27	微生物部	九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型別について(1998~1999年)(第5報)	阿部 義昭	資 料
1999	27	微生物部	大分県における細菌性下痢症の動向(1999年)	阿部 義昭	資 料
1999	27	大 気 部	大分県における雨水成分調査(1999年度)	恵良 雅彰	資 料



年度	号	部 名	表 題	著 者	種 類
1999	27	大 気 部	大分市中心部（旧市内）における揮発性有機化合物濃度の実態	上田精一郎	資 料
2000	28	微生物部	大分地方におけるノーウォークウイルス(Norwalk Virus; NV)の侵淫状況(II)	小野 哲郎	報 文
2000	28	大 気 部	大気中環境ホルモン等化学物質の分析方法および調査結果について（第1報）—ベンゾ [a] ピレン類、フタル酸エステル類、農薬類—	藤野 卓見	報 文
2000	28	水 質 部	環境ホルモンの総量に関する調査 —遺伝子組換え酵母法による女性ホルモン様物質の総量測定—	池辺 豊	報 文
2000	28	化 学 部	大分地域における健康・栄養状況等の評価に関する調査	樋田 俊英	調査・事例
2000	28	化 学 部	大分県内の飲用温（鉱）泉について（第2報）	牧 克年	調査・事例
2000	28	微生物部	大分県における犬の寄生虫調査	吉用 省三	調査・事例
2000	28	水 質 部	海域の水質及び底質中の有機スズ化合物濃度の実態調査	小野 利文	調査・事例
2000	28	水 質 部	河川水質中のビスフェノール A 及びアルキルフェノール類の実態調査	小野 利文	調査・事例
2000	28	化 学 部	食品の化学的検査結果について（2000年度）	岡本 盛義	資 料
2000	28	微生物部	感染症流行予測調査について（2000年度）	小河 正雄	資 料
2000	28	微生物部	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況（2000年）	塚本 伸哉	資 料
2000	28	微生物部	大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向（2000年）	阿部 義昭	資 料
2000	28	微生物部	食品の微生物学的検査成績について（2000年度）	緒方喜久代	資 料
2001	29	企画・特定 化学物質部	ヒト脂肪組織中のダイオキシン類濃度について	局 伸男	報 文
2001	29	微生物部	大分地方におけるノーウォークウイルス(Norwalk Virus; NV)の侵淫状況(III)	小野 哲郎	報 文
2001	29	微生物部	累積相対度数を用いた感染症判断基準値の作成について	小河 正雄	報 文
2001	29	大 気 部	大気中環境ホルモン等化学物質の調査結果について（第2報）—ベンゾ [a] ピレン類、フタル酸エステル類、農薬類—	藤野 卓見	調査・事例
2001	29	水 質 部	海域の水質及び底質中の有機スズ化合物の実態調査	小野 利文	調査・事例
2001	29	化 学 部	チョウセンアサガオによる食中毒事例について	立花 敏弘	調査・事例
2001	29	微生物部	大分県における下痢症由来大腸菌の病原性関連遺伝子の保有状況調査	成松 浩志	調査・事例
2001	29	化 学 部	農産物中の残留農薬について	岡本 盛義	資 料
2001	29	化 学 部	食品の理化学的検査結果について（2001年度）	岡本 盛義	資 料
2001	29	微生物部	感染症流行予測調査について（2001年度）	小河 正雄	資 料
2001	29	微生物部	感染症発生動向調査からみたウイルスの流行状況（2001年度）	小野 哲郎	資 料
2001	29	微生物部	大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向（2001年）	成松 浩志	資 料
2001	29	微生物部	食品の微生物学的検査成績について（2001年度）	緒方喜久代	資 料
2001	29	微生物部	常法では下痢起因菌を検出し得なかった事例報告（第1報）	緒方喜久代	資 料
2001	29	大 気 部	大分県における雨水成分調査（2000～2001年度）	仲摩 聡	資 料

### 3 学会等発表演題

表 題	発 表 者	発 表 学 会 名	会 期	会 場
<i>Vibrio parahaemolyticus</i> の病原性	帆足喜久雄、 瀧 祐一 成松 浩志、 辛島久美子 大友 信也	衛生微生物技術協議会 第13回研究会	1992年 7月	宮崎市
HTLV-I ウイルス抗原の血清学的検討	小野 哲郎、 瀧 祐一 小河 正雄、 大友 信也	第11回大分感染症研究会	1992年 8月	大分市
大分県に於て分離されたA群溶血連鎖球菌の血清型別および薬剤感受性調査について	伊東 達也、 瀧 祐一 帆足喜久雄	第58回九州山口薬学大会	1992年10月	山口市
ムラサキイガイ中の有機スズ化合物について	入江 久生、 川島 真也 立花 敏弘、 局 伸男 小野 文生、 首藤 英樹	第29回全国衛生化学技術協議会年会	1992年10月	金沢市
溶血レンサ球菌レファレンス活動状況報告	瀧 祐一	第18回九州衛生公害技術協議会	1992年11月	宮崎市
体外診断薬の品質管理（衛生研究所及び保健所における行政検査の質の向上に関する研究）	大友 信也	第18回九州衛生公害技術協議会	1992年11月	宮崎市
大分県におけるエンテロウイルス起因疾患の流行状況について	小野 哲郎	第18回九州衛生公害技術協議会	1992年11月	宮崎市
HIV検査法（PCR法）技術研修会報告	小河 正雄	第18回九州衛生公害技術協議会	1992年11月	宮崎市
無菌性髄膜炎の共同研究について	小野 哲郎	第18回九州衛生公害技術協議会	1992年11月	宮崎市
タイヤ火災により発生したオイルの周辺水域への影響について	宮崎 洋子、 蛸灰谷 喬等 浜内 正博、 有田 等	第18回九州衛生公害技術協議会	1992年11月	宮崎市
タイヤ火災により発生したオイルの周辺水域への影響について	宮崎 洋子、 蛸灰谷 喬等 浜内 正博、 有田 等	第19回環境保全・公害防止研究会発表会	1992年11月	福岡市
大分県における放射能調査	上田精一郎、 森崎 澄江 池辺 清士	第34回環境放射能調査研究成果発表会	1992年12月	千葉市
大分県におけるムラサキイガイの環境汚染物質の調査について（第Ⅲ報）	入江 久生、 川島 真也 立花 敏弘、 局 伸男 小野 文生、 首藤 英樹	第10回大分県地域保健学会・第39回大分県公衆衛生学会	1993年 2月	大分市
つつかが虫病患者の疫学調査について	小野 哲郎、 橋本 育子 大友 信也	第10回大分県地域保健学会・第39回大分県公衆衛生学会	1993年 2月	大分市
感染症サーベイランスから見たウイルスの流行状況（1992年）	小野 哲郎、 橋本 育子 北村 雅子、 中田 高史 小河 正雄	第10回大分県地域保健学会・第39回大分県公衆衛生学会	1993年 2月	大分市
大分県における臨床材料由来溶血レンサ球菌の動向（1989～91年）	瀧 祐一、 辛島久美子 成松 浩志、 帆足喜久雄 大友 信也	第10回大分県地域保健学会・第39回大分県公衆衛生学会	1993年 2月	大分市
大分県における1991～1992シーズンのインフルエンザの流行状況について	小野 哲郎、 橋本 育子 小河 正雄、 北村 雅子	第10回大分県地域保健学会・第39回大分県公衆衛生学会	1993年 2月	大分市
大分市河口付近における病原ビブリオの分布調査	辛島久美子、 伊東 達也 瀧 祐一、 帆足喜久雄	第10回大分県地域保健学会・第39回大分県公衆衛生学会	1993年 2月	大分市
県内の小規模事業場の排水調査	甲斐 正二、 宮崎 洋子 有田 等	第10回大分県地域保健学会・第39回大分県公衆衛生学会	1993年 2月	大分市
大分県における雨水成分調査	森崎 澄江、 都留 君佳 栗津記久夫、 池辺 清士	第10回大分県地域保健学会・第39回大分県公衆衛生学会	1993年 2月	大分市
犬糞便中の食中毒菌の検出について	瀧 祐一、 伊東 達也 阿南久美子、 緒方喜久代 小河 正雄、 帆足喜久雄	第19回九州衛生公害技術協議会	1993年11月	那覇市
サルモネラ菌食中毒2例について	緒方喜久代、 瀧 祐一 伊東 達也、 帆足喜久雄	第19回九州衛生公害技術協議会	1993年11月	那覇市

表 題	発 表 者	発 表 学 会 名	会 期	会 場
溶血レンサ球菌レファレンス活動状況報告	瀧 祐一、帆足喜久雄	第19回九州衛生公害技術協議会	1993年11月	那覇市
A 香港型インフルエンザのニワトリ血球に対する凝集性について	中田 高史、小河 正雄 阿南久美子、小野 哲郎	第19回九州衛生公害技術協議会	1993年11月	那覇市
大分県における放射能調査	上田精一郎	第35回環境放射能調査研究成果発表会	1993年12月	千葉市
九州における A 群溶血レンサ球菌の血清型別と薬剤感受性について (1991~1992年)	瀧 祐一、帆足喜久雄	第11回大分県地域保健学会・第40回大分県公衆衛生学会	1994年 2月	大分市
下痢症由来の病原細菌の動向 (1989~1992年)	伊東 達也、阿南久美子 瀧 祐一、帆足喜久雄	第11回大分県地域保健学会・第40回大分県公衆衛生学会	1994年 2月	大分市
サルモネラ食中毒事例について	緒方喜久代、瀧 祐一 伊東 達也、帆足喜久雄	第11回大分県地域保健学会・第40回大分県公衆衛生学会	1994年 2月	大分市
感染症サーベイランスから見たウイルスの流行状況	小野 哲郎、中田 高史 小河 正雄	第11回大分県地域保健学会・第40回大分県公衆衛生学会	1994年 2月	大分市
大分県における1992/1993シーズンのインフルエンザの流行状況及びニワトリ血球に対する凝集性について	中田 高史、小野 哲郎 小河 正雄、阿南久美子	第11回大分県地域保健学会・第40回大分県公衆衛生学会	1994年 2月	大分市
九州地方における無菌性髄膜炎の流行状況	小野 哲郎	第68回日本感染症学会総会	1994年 4月	長崎市
九州沖縄地方の酸性雨調査(13) 硫酸イオン濃度について	森崎 澄江、池辺 清士	第35回大気汚染学会	1994年11月	盛岡市
大分県におけるアデノウイルス抗体保有状況	中田 高史	第59回九州山口薬学大会	1994年11月	沖縄市
集団給食施設使用水の衛生状況(特にエロモナス・プレシオモナスについて)	緒方喜久代、成松 浩志 瀧 祐一、帆足喜久雄	第20回九州衛生公害技術協議会	1994年11月	熊本市
溶血レンサ球菌レファレンス活動状況報告	瀧 祐一、帆足喜久雄	第20回九州衛生公害技術協議会	1994年11月	熊本市
ポリオウイルス 2 型の分離例について	中田 高史、小河 正雄 小野 哲郎	第20回九州衛生公害技術協議会	1994年11月	熊本市
Vero 細胞による日本脳炎中和抗体価の測定法について	小河 正雄、中田 高史 小野 哲郎	第20回九州衛生公害技術協議会	1994年11月	熊本市
トリクロロエチレン等による地下水汚染について	二村 哲男	第20回九州衛生公害技術協議会	1994年11月	熊本市
情報処理の現状について	恵良 雅彰	第20回九州衛生公害技術協議会	1994年11月	熊本市
集団給食施設使用水からの下痢原性大腸菌、カンピロバクター、エロモナス、プレシオモナスの検出状況について	緒方喜久代、成松 浩志 瀧 祐一、帆足喜久雄	第12回大分県地域保健学会・第41回大分県公衆衛生学会	1995年 2月	大分市
大分県における臨床材料由来溶血レンサ球菌の動向 (1992~1994年)	瀧 祐一、成松 浩志 緒方喜久代、帆足喜久雄	第12回大分県地域保健学会・第41回大分県公衆衛生学会	1995年 2月	大分市
感染症サーベイランスからみたウイルスの流行状況 (1993)	中田 高史、小野 哲郎 小河 正雄	第12回大分県地域保健学会・第41回大分県公衆衛生学会	1995年 2月	大分市
大分県における1993/1994シーズンのインフルエンザの流行状況について	中田 高史、小野 哲郎 小河 正雄、阿南久美子	第12回大分県地域保健学会・第41回大分県公衆衛生学会	1995年 2月	大分市
大分県におけるアデノウイルス抗体保有状況	小野 哲郎、小河 正雄 中田 高史	第12回大分県地域保健学会・第41回大分県公衆衛生学会	1995年 2月	大分市



表 題	発 表 者	発 表 学 会 名	会 期	会 場
九州地方における最近4年間の臨床分離株A群溶血レンサ球菌の血清型別と薬剤感受性について (1991～1994)	瀧 祐一、帆足喜久雄 出 美規子* <sup>1</sup> 、古賀 由恵* <sup>2</sup> 仲宗根民雄* <sup>3</sup>	レンサ球菌感染症研究会	1995年6月	東京都
大分県におけるQ熱の血清学的調査	小河 正雄	第17回大分感染症研究会	1995年8月	大分市
輸入魚介類の病原ビブリオ検出状況について	緒方喜久代	第30回九州臨床検査記念学会	1995年10月	別府市
過去5年間のサーベイランスからみた大分県におけるウイルスの流行状況	小河 正雄、中田 高史 小野 哲郎	第21回九州衛生技術協議会	1995年11月	福岡市
全国酸性雨調査 (19) 火山、台風の影響の特徴	森崎 澄江、實成 隆志	第36回大気環境学会	1995年11月	東京都
降水成分の季節変動及び気象との関係	森崎 澄江	第21回九州衛生公害技術協議会	1995年11月	福岡市
Q熱の血清学的調査について	小河 正雄、中田 高史 小野 哲郎、橘 宣祥	第13回大分県地域保健学会・第42回大分県公衆衛生学会	1996年2月	大分市
大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向 (1985年～1994年)	成松 浩志、緒方喜久代 瀧 祐一、帆足喜久雄	第13回大分県地域保健学会・第42回大分県公衆衛生学会	1996年2月	大分市
九州におけるA群溶血レンサ球菌の血清型別と薬剤感受性について (第2報)	瀧 祐一、帆足喜久雄 角 典子* <sup>1</sup> 、古賀 由恵* <sup>2</sup> 久高 潤* <sup>3</sup> 、加野 成明* <sup>4</sup>	第13回大分県地域保健学会・第42回大分県公衆衛生学会	1996年2月	大分市
飲料水大腸菌群試験におけるMMO-MUG法と従来法との比較検討 (第2法)	瀧 祐一、成松 浩志 緒方喜久代、帆足喜久雄 大分県各保健所試験検査担当者一同	第13回大分県地域保健学会・第42回大分県公衆衛生学会	1996年2月	大分市
輸入魚介類の病原ビブリオ検出状況について (1990年～1994年)	緒方喜久代、成松 浩志 瀧 祐一、帆足喜久雄	第13回大分県地域保健学会・第42回大分県公衆衛生学会	1996年2月	大分市
過去5年間のサーベイランスからみた大分県におけるウイルスの流行状況について	中田 高史、小河 正雄 小野 哲郎	第13回大分県地域保健学会・第42回大分県公衆衛生学会	1996年2月	大分市
大分県における1994/1995シーズンのインフルエンザの流行状況について	中田 高史、小河 正雄 小野 哲郎	第13回大分県地域保健学会・第42回大分県公衆衛生学会	1996年2月	大分市
ふぐ (フグ毒を中心として)	瀧 祐一	第5回九州・沖縄中毒談話会	1996年4月	大分市
PCRによる細菌性毒素検出・同定法について	緒方喜久代、瀧 祐一 成松 浩志、帆足喜久雄	第5回九州・沖縄中毒談話会	1996年4月	大分市
九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型別について	瀧 祐一、帆足喜久雄 角 典子* <sup>1</sup> 、久高 潤* <sup>3</sup> 加野 成明* <sup>4</sup>	レンサ球菌感染症研究会	1996年6月	福岡市
大分県におけるジフテリア患者発生事例について	帆足喜久雄	衛生微生物技術協議会 第17回研究会	1996年7月	京都市
地研における結核検査への取組み	緒方喜久代	衛生微生物技術協議会 第17回研究会	1996年7月	京都市
大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向 (1985～1995年)	成松 浩志、帆足喜久雄	第45回九州地区獣医師大会	1996年9月	別府市
梅雨期及び降雪期における火山性降水物の特徴	森崎 澄江、野上 文史	第37回大気環境学会	1996年9月	堺 市
降水成分の季節変動及び気象との関係	森崎 澄江	第22回九州衛生公害技術協議会	1996年10月	北九州市
Windows95をベースにした所内LANの構築について	恵良 雅彰、山下 秀門 小河 正雄	第22回九州衛生公害技術協議会	1996年10月	北九州市

表 題	発 表 者	発 表 学 会 名	会 期	会 場
大分県沿岸産ホシフグの毒性	瀧 祐一、帆足喜久雄 長島 裕二* <sup>5</sup> 、赤枝 宏* <sup>6</sup> 野口 玉雄* <sup>6</sup>	日本水産学会秋季大会	1996年10月	福岡市
大分県におけるクラミジア感染症の疫学調査について	小野 哲郎、橋 宣祥	日本感染症学会西日本 地方総会	1996年11月	徳島市
大分県における下痢原性大腸菌の検出状況について	瀧 祐一、成松 浩志 緒方喜久代、帆足喜久雄 橋 宣祥	日本感染症学会西日本 地方総会	1996年11月	徳島市
「コロニー掻き取り法」と PCR 法の組合せによる 病原大腸菌検出法について	緒方喜久代、成松 浩志 瀧 祐一、帆足喜久雄 橋 宣祥	大分感染症研究会	1997年 2月	大分市
大分県における腸管出血性大腸菌O-157等の検出 状況	成松 浩志、緒方喜久代 瀧 祐一、帆足喜久雄	第14回大分県地域保健 学会・第43回大分県公 衆衛生学会	1997年 2月	大分市
九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清 型別について (1995年)	瀧 祐一、帆足喜久雄 角 典子* <sup>1</sup> 、久高 潤* <sup>3</sup> 加野 成明* <sup>4</sup>	第14回大分県地域保健 学会・第43回大分県公 衆衛生学会	1997年 2月	大分市
原因食品が特定されたサルモネラ・エンテリティ ディス食中毒事例について	緒方喜久代、成松 浩志 瀧 祐一、帆足喜久雄	第14回大分県地域保健 学会・第43回大分県公 衆衛生学会	1997年 2月	大分市
飲用温泉水の衛生学的研究	瀧 祐一、帆足喜久雄 久枝 和生、首藤 武巨	第14回大分県地域保健 学会・第43回大分県公 衆衛生学会	1997年 2月	大分市
大分県における1995/1996シーズンのインフルエ ンザの流行状況について	小野 哲郎、小河 正雄 井上 香龍* <sup>7</sup>	第14回大分県地域保健 学会・第43回大分県公 衆衛生学会	1997年 2月	大分市
感染症サーベイランスからみたウイルスの流行状 況 (1995)	小野 哲郎、小河 正雄 中田 高史* <sup>8</sup> 、井上 香龍* <sup>7</sup>	第14回大分県地域保健 学会・第43回大分県公 衆衛生学会	1997年 2月	大分市
大分県におけるクラミジア感染症の浸淫状況につ いて	小野 哲郎、小河 正雄	第14回大分県地域保健 学会・第43回大分県公 衆衛生学会	1997年 2月	大分市
大分県沿岸産フグの毒性について	瀧 祐一、帆足喜久雄 赤枝 宏* <sup>6</sup> 、野口 玉雄* <sup>6</sup>	第14回大分県地域保健 学会・第43回大分県公 衆衛生学会	1997年 2月	大分市
「コロニー掻き取り法」と PCR 法の組合せによる VTEC 検出法について	緒方喜久代、成松 浩志 瀧 祐一、帆足喜久雄 橋 宣祥	第71回日本感染症学会 総会学術講演会	1997年 4月	札幌市
大分県蒲江産ヒオウギの PSP 特性	高谷 智裕* <sup>6</sup> 、森田 孝敏* <sup>6</sup> 阿南 昭宏* <sup>6</sup> 、赤枝 宏* <sup>6</sup> 野口 玉雄* <sup>6</sup> 、堤 憲太郎* <sup>9</sup> 瀧 祐一	日本水産学会平成 9 年 度春季大会	1997年 4月	東京都
Vero 細胞を用いた日本脳炎中和抗体法について	小河 正雄、小野 哲郎	第32回日本脳炎ウイル ス生態学研究会	1997年 6月	高松市
九州地方における血清疫学 (Q熱)	小河 正雄、小野 哲郎	衛生微生物技術協議会 第18回研究会	1997年 7月	別府市
アデノウイルス 7 型検出状況	小野 哲郎、塚本 伸哉 小河 正雄	第21回大分感染症研究 会	1997年 8月	大分市
硫黄山の水蒸気爆発に伴う周辺温泉の状況調査 (1)	宮崎 正、樋田 俊英 久枝 和生、首藤 武巨	大分県温泉調査研究会	1997年 8月	別府市
大分県沿岸産フグ 3 種ヒガンフグ、コモンフグ及 びホシフグの毒性	瀧 祐一、帆足喜久雄 赤枝 宏* <sup>6</sup> 、野口 玉雄* <sup>6</sup>	日本水産学会平成 9 年 度秋季大会	1997年 9月	東広島市
針葉樹 (杉) の樹幹表面における酸性雨の反応に ついて	森崎 澄江、諫本 信義* <sup>10</sup>	第38回大気環境学会	1997年 9月	つくば市

表 題	発 表 者	発 表 学 会 名	会 期	会 場
大腸菌群試験における酵素基質培地法の飲用温泉水への適用	瀧 祐一、宮崎 正 成松 浩志、緒方喜久代 帆足喜久雄	日本食品衛生学会第74 回学術講演会	1997年10月	福岡市
LAN 環境で動作するソフトウェアの開発	恵良 雅彰	第23回九州衛生公害技 術協議会	1997年11月	鹿児島市
サーベイランス・リファレンス事業報告（溶血レンサ球菌）	瀧 祐一、帆足喜久雄	第23回九州衛生公害技 術協議会	1997年11月	鹿児島市
腸炎ビブリオ食中毒におけるPCR法を用いた原因食品の推定	緒方喜久代、成松 浩志 瀧 祐一、帆足喜久雄	第31回腸炎ビブリオン ンポジウム	1997年11月	岡山市
PCR法を用いた病原大腸菌の迅速検査について	緒方喜久代、成松 浩志 瀧 祐一、帆足喜久雄	九州山口薬学大会	1997年11月	熊本市
大分県における二枚貝の毒化状況について	後藤 成一、藤井 幹久 野口玉雄*6、堤 憲太郎*9 他	九州山口薬学大会	1997年11月	熊本市
潮流モデルのプログラム化について	浜内 正博、蛸灰谷 喬 足立 和治、恵良 雅彰	第24回環境保全・公害 防止研究発表会	1997年11月	那覇市
大分県のつつが虫病	小河 正雄、塚本 伸哉 小野 哲郎	第6回ダニと疾患のイン ターフェイスに関する セミナー	1998年6月	富山県 大山町
大分県のつつが虫病	小河 正雄	第62回九州山口薬学大 会	1998年10月	鹿児島市
大分県下の河川の汽水域で冬期に発生する赤潮について	足立 和治、城井 堅	第25回環境保全・公害 防止研究発表会	1998年11月	岡山市
大分県における近年のサルモネラ菌型推移	阿部 義昭、帆足喜久雄 成松 浩志	平成10年度日本獣医公 衆衛生学会九州地区学 会	1998年11月	北九州市
デング（出血）熱の検査法について	小野 哲郎、塚本 伸哉 小河 正雄	第24回九州衛生公害技 術協議会	1998年11月	長崎市
近年の腸炎ビブリオ食中毒の動向	緒方喜久代、阿部 義昭 瀧 祐一、帆足喜久雄	第24回九州衛生公害技 術協議会	1998年11月	長崎市
大分県における腸管出血性大腸菌（EHEC）の分離状況	阿部 義昭、緒方喜久代 瀧 祐一、帆足喜久雄	平成10年度大分県食品 衛生監視員・と畜検査 員研究発表会	1999年2月	別府市
腸炎ビブリオ同定法の検討	緒方喜久代、阿部 義昭 瀧 祐一、帆足喜久雄 牧野 芳大	第24回大分感染症研究 会	1999年2月	大分市
大分県のつつが虫病（1992～1997年）	小河 正雄、塚本 伸哉 小野 哲郎	第45回大分県公衆衛生 学会	1999年3月	大分市
小型球形ウイルス（SRSV）による食中毒事例について	小野 哲郎、塚本 伸哉 小河 正雄	第45回大分県公衆衛生 学会	1999年3月	大分市
感染症サーベイランスからみたウイルスの流行状況（1997年）	塚本 伸哉、小野 哲郎 小河 正雄、吉用 省三	第45回大分県公衆衛生 学会	1999年3月	大分市
九州地方における臨床由来溶血レンサ球菌の血清型別について（1996～97年）	瀧 祐一、帆足喜久雄 諸石 早苗*1、久高 潤*3 加野 成明*4	第45回大分県公衆衛生 学会	1999年3月	大分市
大分県における細菌性下痢症サーベイランスの動向（1997年）	緒方喜久代、成松 浩志 瀧 祐一、帆足喜久雄	第45回大分県公衆衛生 学会	1999年3月	大分市
硫黄山水蒸気爆発に伴う周辺温泉の実態調査―第2報―	西海 政憲、樋田 俊英 神田 尚徳	第50回大分県温泉調査 研究会	1999年7月	別府市
温泉保全対策について	西海 政憲、樋田 俊英 神田 尚徳	第50回大分県温泉調査 研究会	1999年7月	別府市
当院で経験したS. Oranienburg 感染症の小児例	松尾 勇作*11、長倉 智和*11 堤 万里子*11、清水 隆史*11 衛藤美奈子*11、石原 高信*11 藤本 保*11、瀧 祐一 緒方喜久代	第25回大分感染症研究 会	1999年8月	大分市



表 題	発 表 者	発 表 学 会 名	会 期	会 場
“diffuse outbreak”と推定された <i>Salmonella</i> Chester による散発下痢症の疫学	緒方喜久代、阿部 義昭 刈 祐一、帆足喜久雄 牧野 芳大	第52回日本細菌学会九州支部総会	1999年9月	福岡市
大分県で分離された腸管出血性大腸菌 (EHEC) の疫学解析	阿部 義昭、帆足喜久雄	平成11年度日本獣医公衆衛生学会 (九州)	1999年10月	那覇市
未利用種ホシフグの毒性について	刈 祐一	第3回大分県水産業総合発表交流発表会	1999年11月	大分市
インターネットによる感染症情報の発信について	小河 正雄	第25回九州衛生公害技術協議会	1999年11月	大分市
“diffuse outbreak”と推定された <i>Salmonella</i> Chester による散発下痢症の疫学	緒方喜久代、阿部 義昭 刈 祐一、帆足喜久雄 牧野 芳大	第25回九州衛生公害技術協議会	1999年11月	大分市
大分市における環境大気中の有機炭素化合物について	上田精一郎、吉川 政治 安藤 章夫	第25回九州衛生公害技術協議会	1999年11月	大分市
産業廃棄物最終処分場からの発生ガスについて	藤野 卓見、上田精一郎 安藤 章夫	第25回九州衛生公害技術協議会	1999年11月	大分市
大山町におけるつつが虫病の研究	小河 正雄、塚本 伸哉 小野 哲郎	第26回大分感染症研究会	2000年1月	大分市
飲用温 (鉱) 泉の実態と利用状況について (第1報)	牧 克年、西海 政徳 刈 祐一、神田 尚徳	第53回大分県温泉調査研究会	2000年7月	別府市
食品残品 (にぎり寿司) から耐熱性溶血毒 (TDH) 産生性腸炎ビブリオ 03:K6 が検出された食中毒事例	緒方喜久代、阿部 義昭 刈 祐一、帆足喜久雄	第25回腸炎ビブリオンポジウム	2000年10月	泉佐野市
パルスフィールドゲル電気泳動法によるサルモネラの疫学解析	阿部 義昭、帆足喜久雄	平成12年度日本獣医公衆衛生学会 (九州)	2000年10月	福岡市
飲用温 (鉱) 泉の実態と利用状況について (第1報)	牧 克年、西海 政徳 刈 祐一、神田 尚徳	第26回九州衛生公害技術協議会	2000年11月	佐賀市
食品中の環境ホルモン分析法の共同・分担研究について (ムラサキイガイ中の有機スズ化合物の分析)	金並 和重、樋田 俊英 神田 尚徳	第26回九州衛生公害技術協議会	2000年11月	佐賀市
大気中環境ホルモン等化学物質 (ベンゾ (a) ピレン、フタル酸ジエステル類、農薬類) の分析方法の検討及び実態調査について	藤野 卓見	第26回九州衛生公害技術協議会	2000年11月	佐賀市
酸化エチレンの分析 SOPs の作成について	後藤 郁夫	第26回九州衛生公害技術協議会	2000年11月	佐賀市
大分地方における小型球形ウイルス (Norwalk virus ; NV) の浸淫状況について	小野 哲郎、小河 正雄	第70回日本感染症学会西日本地方会総会	2000年12月	宮崎市
九州地区における O157 等腸管出血性大腸菌症の菌学的特性に基づく動向	帆足喜久雄、緒方喜久代 刈 祐一、牧野 芳大 外九州各地研協同研究者	第70回日本感染症学会西日本地方会総会	2000年12月	宮崎市
大分県における細菌性下痢症の発生動向調査 (1998-1999年)	阿部 義昭、緒方喜久代 刈 祐一、帆足喜久雄	第46回大分県公衆衛生学会	2001年2月	大分市
飲用温 (鉱) 泉の実態と利用状況について (第2報)	牧 克年、西海 政徳 神田 尚徳	第54回大分県温泉調査研究会	2001年7月	別府市
ビーズ法を用いた腸管出血性大腸菌 O157 保菌者検索の有用性	緒方喜久代、阿部 義昭 帆足喜久雄	衛生微生物技術協議会第22回研究会	2001年7月	徳島市
主な食中毒起因菌検索における PCR 法の有用性に関する事例検討	緒方喜久代、成松 浩志 阿部 義昭、帆足喜久雄	第54回日本細菌学会九州支部総会	2001年9月	北九州市
16SrRNA 遺伝子を標的とした PCR 法による <i>Vibrio vulnificus</i> の同定	緒方喜久代、成松 浩志 阿部 義昭、帆足喜久雄 谷口 初美 <sup>*12</sup>	第34回腸炎ビブリオンポジウム	2001年10月	津 市
大気中環境ホルモン等化学物質の調査結果について	藤野 卓見、後藤 郁夫 城井 堅	第27回九州衛生環境技術協議会	2001年10月	福岡市

\*1 佐賀県衛生研究所、\*2 熊本県衛生公害研究所、\*3 沖縄県衛生環境研究所、\*4 北九州市環境科学研究所、\*5 東京水産大学、\*6 長崎大学、\*7 大分市保健所、\*8 大分県環境管理課、\*9 大分県海洋水産研究センター、\*10 大分県林業試験場、\*11 藤本小児病院 (大分市)、\*12 産業医科大学

# 職員録

	保健環境部				生活環境部	
	1993 (H5)	1994 (H6)	1995 (H7)	1996 (H8)	1997 (H9)	1998 (H10)
所長 次長	大友 信也 宇藤 賢二 佐藤 順一	橘 宣祥 宇藤 賢二	橘 宣祥 脇 伸裕 有田 等	橘 宣祥 脇 伸裕	牧野 芳大 阿部 功	牧野 芳大 阿部 功
管理情報部 管理課	B宇藤 賢二 K秦 俊一 緒方 智子 後藤美穂子 河野 正彰 宗像 政次	B宇藤 賢二 K秦 俊一 瞰野 順子 後藤美穂子 河野 正彰 宗像 政次	B脇 伸裕 K後藤 祥行 瞰野 順子 兼田 正俊 佐藤 智江 河野 正彰 宗像 政次	B脇 伸裕 K後藤 祥行 兼田 正俊 瞰野 順子 宇和 昌子 河野 正彰 宗像 政次	B阿部 功 K後藤 祥行 兼田 正俊 首藤 晴世 宇和 昌子 河野 正彰 宗像 政次	B阿部 功 K後藤 祥行 首藤 晴世 兼田 正俊 陶山 圭二 河野 正彰 宗像 政次
企画情報課	K藤井 幹久 恵良 雅彰 山下 秀門	K藤井 幹久 恵良 雅彰 山下 秀門	K藤井 幹久 恵良 雅彰 山下 秀門	K安藤 誠 恵良 雅彰 小野 利文	K安藤 誠 恵良 雅彰 小野 利文	K安藤 誠 恵良 雅彰 小野 利文
化学部	B首藤 秀樹 城井 堅 川島 真也 久枝 和生 立花 敏弘 局 伸男 入江 久生 小野 文生	B山田 英喜 安藤 章夫 川島 真也 久枝 和生 立花 敏弘 溝腰 利男 局 伸男 小野 文生 甲斐 正二	B首藤 武巨 安藤 章夫 川島 真也 久枝 和生 立花 敏弘 後藤 成一 藤原 信子 宮崎 洋子 小野 文生	B首藤 武巨 藤井 幹久 安藤 章夫 川島 真也 久枝 和生 立花 敏弘 後藤 成一 宮崎 正 藤原 信子	B首藤 武巨 藤井 幹久 川島 真也 立花 敏弘 後藤 成一 宮崎 正 樋田 俊英 局 伸男 金並 和重	B神田 尚徳 藤井 幹久 川島 真也 西海 政憲 後藤 成一 樋田 俊英 局 伸男 曾根 聡子 金並 和重
微生物部	B帆足喜久雄 小野 哲郎 淵 祐一 小河 正雄 緒方喜久代 辛島久美子 伊東 達也 中田 高史	B帆足喜久雄 小野 哲郎 淵 祐一 小河 正雄 緒方喜久代 成松 浩志 阿南久美子 中田 高史	B帆足喜久雄 小野 哲郎 淵 祐一 小河 正雄 緒方喜久代 成松 浩志 中田 高史	B帆足喜久雄 小野 哲郎 吉用 省三 淵 祐一 小河 正雄 緒方喜久代 成松 浩志	B帆足喜久雄 S小野 哲郎 吉用 省三 淵 祐一 小河 正雄 緒方喜久代 成松 浩志 塚本 伸哉	B帆足喜久雄 S小野 哲郎 吉用 省三 淵 祐一 小河 正雄 緒方喜久代 阿部 義昭 塚本 伸哉
大気部	B池辺 清士 S三浦 清徳 安藤 章夫 岡本 盛義 上田精一郎 森崎 澄江	B池辺 清士 S三浦 清徳 仲摩 聡 藤野 卓見 岡本 盛義 森崎 澄江	B野上 文史 仲摩 聡 藤野 卓見 加藤 洋一 森崎 澄江 鈴木 弘統	B野上 文史 仲摩 聡 藤野 卓見 加藤 洋一 森崎 澄江 鈴木 弘統	B安藤 章夫 仲摩 聡 藤野 卓見 藤原 信子 森崎 澄江 上田精一郎	B安藤 章夫 吉川 政治 藤野 卓見 藤原 信子 上田精一郎
水質部	B有田 等 浜内 正博 仲摩 聡 飛高 信雄 蛸灰谷 喬 二村 哲男 宮崎 洋子 坂田 隆一 甲斐 正二	B有田 等 城井 堅 浜内 正博 佐々木 清 飛高 信雄 蛸灰谷 喬 二村 哲男 宮崎 洋子 坂田 隆一	B有田 等 城井 堅 浜内 正博 佐々木 清 飛高 信雄 蛸灰谷 喬 東 敏正 二村 哲男 足立 和治	B城井 堅 浜内 正博 飛高 信雄 蛸灰谷 喬 山下 秀門 二村 哲男 東 敏正 足立 和治	B城井 堅 浜内 正博 久枝 和生 飛高 信雄 蛸灰谷 喬 二村 哲男 東 敏正 足立 和治 桜井 良平	B掛野 昭二 久枝 和生 飛高 信雄 蛸灰谷 喬 溝腰 利男 東 敏正 足立 和治 池辺 豊 桜井 良平 川崎 充枝
企画情報課兼務 主幹研究員	大神 貴史*1 末光 宣雄*2 諫本 信義*4 田染 博章*5 野地 良久*3	藤内 修二*1 末光 宣雄*2 諫本 信義*4 田染 博章*5 野地 良久*3	山下 剛*1 末光 宣雄*2 諫本 信義*4 田染 博章*5 野地 良久*3	末光 宣雄*2 野地 良久*3 諫本 信義*4 阿南 宏重*5	内田 勝彦*1 末光 宣雄*2 野地 良久*3 室 雅道*4 阿南 宏重*5	内田 勝彦*1 後藤 文治*2 野地 良久*3 室 雅道*4 安部 和智*5

註 BS：生活環境部参事、B：部長、S：専門研究員、F：副部長、K：課長

\*1：健康対策課（H7まで大分保健所）、\*2：産業科学技術センター（H6まで工業試験場）、\*3：農業技術センター、\*4：林業試験場、\*5：海洋水産研究センター（H7まで水産試験場）

生活環境部	生活環境部				
	1999 (H11)	2000 (H12)	2001 (H13)	2002 (H14)	2003 (H15)
牧野 芳大 阿部 功	野上 文史 BS阿部 功	野上 文史 山崎 敏昌	甲斐 崇明 山崎 敏昌	甲斐 崇明 城井 秀郎	
B阿部 功 K衛藤 平八 首藤 晴世 兼田 正俊 陶山 圭二 河野 正彰 首藤みづ子 宗像 政次 K堤 信男 山下 秀門 小野 文生	B阿部 功 K山崎 敏昌 兼田 正俊 芦原麻由美 陶山 圭二 河野 正彰 宗像 政次	B山崎 敏昌 K衛藤 平八 兼田 正俊 芦原麻由美 陶山 圭二 河野 正彰 宗像 政次	B山崎 敏昌 藤井 直行 芦原麻由美 兼田 正俊 陶山 圭二 河野 正彰 宗像 政次	B城井 秀郎 藤井 直行 芦原麻由美 兼田 正俊 高木 道代 河野 正彰 宗像 政次	
	企画・特定化学 物質部	B安藤 章夫 F仲摩 聡 山下 秀門 局 伸男 上田精一郎 小野 文生	B城井 堅 F恵良 雅彰 山下 秀門 局 伸男 上田精一郎 小野 文生	B城井 堅 F恵良 雅彰 二村 哲男 局 伸男 上田精一郎 佐藤 勲	B吉川 政治 F久枝 和生 二村 哲男 瀧 祐一 上田精一郎 佐藤 勲
B神田 尚徳 西海 政憲 飛高 信雄 後藤 成一 樋田 俊英 局 伸男 牧 克年 金並 和重 曾根 聡子	化学部	B神田 尚徳 西海 政憲 飛高 信雄 樋田 俊英 牧 克年 岡本 盛義 金並 和重 曾根 聡子	B浜内 正博 F飛高 信雄 立花 敏弘 樋田 俊英 牧 克年 岡本 盛義 森崎 澄江 曾根 聡子	B浜内 正博 S川島 眞也 立花 敏弘 二宮 孝代 牧 克年 岡本 盛義 森崎 澄江 荒金真理子	B城井 堅 S三妙 正治 立花 敏弘 二宮 孝代 溝腰 利男 森崎 澄江 荒金真理子 曾根 聡子
B帆足喜久雄 S小野 哲郎 吉用 省三 瀧 祐一 小河 正雄 阿部 義昭 緒方喜久代 塚本 伸哉	微生物部	B帆足喜久雄 S小野 哲郎 吉用 省三 瀧 祐一 小河 正雄 阿部 義昭 緒方喜久代 塚本 伸哉	B帆足喜久雄 S小野 哲郎 吉用 省三 小河 正雄 阿部 義昭 緒方喜久代 成松 浩志 塚本 伸哉	B帆足喜久雄 S小野 哲郎 吉用 省三 鷺見 悦子 小河 正雄 緒方喜久代 成松 浩志	B内山 静夫 S川島 眞也 吉用 省三 鷺見 悦子 小河 正雄 緒方喜久代 成松 浩志 田代 潔子
B安藤 章夫 吉川 政治 恵良 雅彰 藤野 卓見 上田精一郎 後藤 郁夫	大気部	B城井 堅 恵良 雅彰 藤野 卓見 足立 和治 後藤 郁夫	B掛野 昭二 F仲摩 聡 藤野 卓見 蛸灰谷 喬 後藤 郁夫	B粟津記久夫 F仲摩 聡 藤野 卓見 蛸灰谷 喬 山下 佳史	B粟津記久夫 F恵良 雅彰 藤野 卓見 蛸灰谷 喬 山下 佳史
B掛野 昭二 F藤井 幹久 久枝 和生 蛸灰谷 喬 衛藤 和則 溝腰 利男 足立 和治 池辺 豊 桜井 良平 川崎 充枝	水質部	B掛野 昭二 S藤井 幹久 久枝 和生 蛸灰谷 喬 衛藤 和則 溝腰 利男 小野 利文 池邊 豊 川崎 充枝	B安藤 章夫 S藤井 幹久 F川島 眞也 久枝 和生 溝腰 利男 小野 利文 坂田 隆一 池邊 豊 川崎 充枝	B安藤 章夫 S藤井 幹久 F飛高 信雄 久枝 和生 溝腰 利男 宮崎 博文 小野 利文 坂田 隆一 川崎 充枝	B浜内 正博 S藤井 幹久 F飛高 信雄 宮崎 正 宮崎 博文 牧 克年 坂田 隆一
内田 勝彦*1 後藤 文治*2 野地 良久*3 室 雅道*4 安部 和智*5	企画・特定化学 物質部兼務主幹 研究員	前田 泰久*1 後藤 文治*2 小野 忠*3 室 雅道*4 安部 和智*5	前田 泰久*1 後藤 文治*2 小野 忠*3 室 雅道*4 安部 和智*5	前田 泰久*1 後藤 文治*2 小野 忠*3 室 雅道*4 猿渡 実*5	山下 剛*1 後藤 文治*2 小野 忠*3 室 雅道*4 猿渡 実*5

・所長：牧野芳大  
(6月まで)

・管理部課制廃止・次長：山崎敏昌  
(8月まで)





大分県衛生環境研究センター年報

第30号 記念特集号

---

平成15年12月25日発行

編集・発行者 大分県衛生環境研究センター

〒870-1117 大分市高江西2丁目8番

☎ (097) 554-8980

FAX (097) 554-8987

---

印刷所 いづみ印刷株式会社

白杵市大字白杵字洲崎72-91

☎ (0972) 63-4317

---

